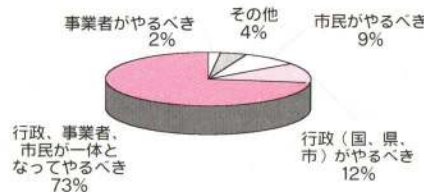


◆環境保全活動はだれがやるべき
七割の市民が「行政、事業者、市民が一体となって進めるべき」と考えています。

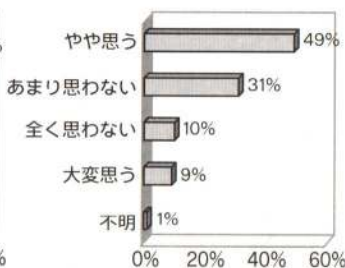
【環境保全活動は誰がやるべきですか】



◆事業活動と環境

企業の半数以上が、事業活動が地球や地域の環境に少なからず影響を及ぼしていると考えており、九割の企業が環境保全に対する取り組みが重要であると認識しています。

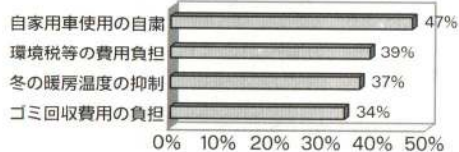
【事業内容が環境に影響をおよぼしていると思いますか】



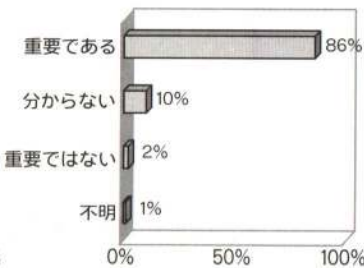
◆環境を守るための基準やきまり
どうしても我慢できないもの

「自家用車の自粛」が市民の五割と最も多く、次いで「環境税等の負担」「冬の暖房温度の抑制」などとなっています。

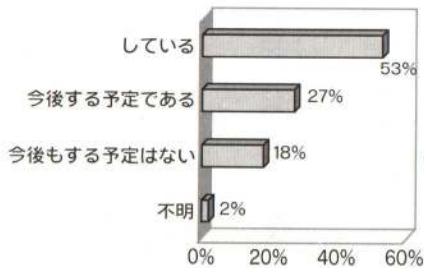
【我慢できない基準やきまり】



【環境保全に対する取り組みは重要ですか】



【環境保全のための取り組みをしていますか】



◆自由意見
自由意見欄にも数多くの意見が寄せられました(自由意見の回答率は、市民が三割、小中学生が六割、企業が二割)。これからも環境問題に対する関心の高さがうかがわれます。

代表的な意見としては「ごみの分別がわかりにくい」「子供たちを遊ばせる公園が少ない」などの行政に対するものや「犬のフンが放置されている」「ボイ捨てが多い」などの市民のモラルに関するものがありました。また「環境保全のため市民が積極的に行動すべき」「子供のころからの環境学習が大切」などの環境保全に前向きな意見も数多く寄せられています。

自由意見回答数ベスト10(市民)

- | | |
|----------------|----|
| 1. ごみの分別、リサイクル | 68 |
| 2. 公園、緑地、緑 | 42 |
| 3. 市民の意識、行動 | 40 |
| 4. ボイ捨て、不法投棄 | 39 |
| 5. 行政の施策、行動 | 36 |
| 6. 犬のフン、カラスの害 | 35 |
| 7. 道路、街灯 | 27 |
| 8. 河川、下水道 | 21 |
| 9. 環境全般 | 12 |
| 10. 騒音 | 1 |



市民懇話会でのワークショップ



環境審議会での審議

アンケート結果などを踏まえ、
研究・検討を進めています

アンケート調査や各種調査資料などを通じ、大館市における環境の実態が浮かびあがってきました。市では、このアンケート結果などをもとに、市民の代表者などからなる市民懇話会、環境審議会などで環境を守り育てていくための課題や環境のあるべき姿などの研究・検討を進めています。

※アンケート調査結果の詳細を知りたいかたは、生活環境課までご連絡ください。市のホームページにも掲載しています。

環境アンケート調査、環境基本計画についての

お問い合わせは

生活環境課 電話 49-3111 (内線206)

環境に関するご意見や
ご提言をお待ちしています

市民の皆さんと一緒につくる大館市環境基本計画。「こんな問題がある」「こうすればいいのでは」など環境に関するご意見・ご提言を遠慮なくお寄せください。

あて先は

郵便・〒017-8555

大館市字中城20番地

大館市役所生活環境課

FAX・49-7005

Eメールアドレス

odateshi@mbf.sphere.ne.jp